

ヴァリエテ (1925)

VARIETE

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 ドイツ
色彩 B&W
時間 57分
初公開日 1927/05
公開情報 劇場公開

【解説】

ステファン・ハラーは妻と共に盛名を馳せた曲芸師だったが、今まで獄中にあり、やっと仮釈放の機会を得た。彼はこの10年間の間、自分の犯罪の詳細を誰にも明かさなかったが、出獄を前にして、刑務所長に事件のことを語り始める……。彼は謝肉祭廻りの一座を率いて、新妻ベルタと仲むつまじく暮らしていた。そこへ兄を事故で亡くし新しいパートナーを求めていた世界的空中曲芸師アルティネリから共演の申し込みがあり、一座は大変な成功を収めるが、彼は若妻を誘惑し、その事実を酒場の卓の座員の落書きで知ったステファンは彼と争って刺し殺してしまったのだ。現在観られるビデオは、ステファンがベルタと出会って古女房を捨てるまでの前段をカットし、回想形式でハッピー・エンド的に処理したアメリカ公開版。それでも“誘惑”の場面の風の描写、殺害を手を洗った洗面器の血で表現するところなど、妖しくなまなましい迫りに満ちたグロテスク・リアリズムのメロドラマだ。ヤニングスも凄絶な演技を見せた。

【クレジット】

監督	E・A・デュポン	Ewald Andre Dupont
原作	フリードリッヒ・ホルンダー	Friedrich Hollander
脚本	E・A・デュポン	Ewald Andre Dupont
	レオ・ビリンスキー	Leo Birinski
撮影	カール・フロイント	Karl Freund
出演	エミール・ヤニングス	Emil Jannings
	マリー・デルシャフト	Maly Delshaft
	リア・デ・プッティ	Lya de Putti
	ソルウィック・ワルト	